

ネモフィラ通信 NO.24

外科系の看護師として日々奮闘しています！～25病棟～

消化器内科・消化器外科・血管外科・呼吸器外科の混合病棟で10代から90代と幅広い年齢層の方々の看護をしています。

毎日、手術や内視鏡的検査・治療は合わせると5～8件程度あり、タイムリーな看護ケアが提供できるよう工夫しています。

『毎日バタバタと忙しく奮闘している』という言葉がぴったりとくる感じです。

また、日々回復していく姿に寄り添い、直接かかわる私たちは、看護する喜びを実感しながら働くことができる病棟だと思っています。

特に、周手術期の患者様は、早期離床を含め多職種と協働

しながらその人らしさを尊重した看護を目指しています。

摂食・嚥下障害認定看護師、皮膚排泄ケア認定看護師や、特定行為研修修了者が所属し、看護師のスキルアップやスタッフ育成に力を発揮してくれています。

当院は、がん診療連携拠点病院であり、がん患者の入院が多く外科的治療や薬物療法、緩和ケアに至るまで幅広い看護を提供しています。

こんな毎日ですが、患者様に寄り添った看護ができるように日々奮闘しています。



先週のTOPIX

医療安全研修会～患者の安全を損なうDisruptive Behavior～

9月20日 名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部 長尾能雅先生を招いて「患者の安全を損なうDisruptive Behavior」の研修会を行いました。Disruptive Behaviorとは、「破壊的な、規律を乱す行動」のことで、チームの円滑なコミュニケーションや情報共有を阻み、治療のアウトカムや患者の安全性に負の影響をもたらすとされ、組織的な対策が必要である。安全文化の醸成には時間がかかる。最難関かつ最重要事項であることを、職員皆で再認識できた研修でした。